

令和4年度 Yamanashi AI ハッカソン企画・実施業務委託企画提案募集要項に基づく質問に対する回答

番号	質問受付日	質問	回答
1	令和4年5月31日	<p>① 事業の目的が AI に興味をもってもらうためのハッカソンであれば、実施する環境については python に限ることなく、ローコードで開発可能な環境も含め検討したいと考えていますがそのような提案は可能でしょうか。</p> <p>② プレゼンテーションの実施予定について日程がある程度決まっているようであれば教えていただきたいです。また、日程については調整が可能でしょうか。</p>	<p>① 原則は python を用いることとするが、当該事業の目的は AI 人材を目指す契機となるようなハッカソンを開催することであるため、python によらず、ローコード等による提案も可とします。</p> <p>② プレゼンテーションは6月22日（水）午後を予定しています。ただし、企画提案者数が多い場合は別途調整する可能性があります。</p>
2	令和4年6月1日	<p>① 参加者の想定 ハッカソンの参加者の役割としてデザイナーや企画者なども想定されますが、その参加者全員に Python など AI 技術の習得を求めますでしょうか？それとも、デザイナーや企画者の参加は想定されないでしょうか？</p> <p>② 仕様書 3 業務内容(2) に記載がある、ハッカソンの開発環境について開発環境に優劣が生じないようなクラウドサービスの開発環境との指定がありますが OpenVino ( intel )、 Azure Machine Learning (Microsoft)、 Tensorflow (Google など) といったよ</p>	<p>① 当該事業の目的は AI 人材を目指す契機となるようなハッカソンを開催することであり、 AI を実装する体験をすることが重要であるため、チーム内で役割分担を行ったとしても、参加者全員にローコード等も含めたプログラミングを体験していただきたいと考えており、全員が事前学習を受講することとしています。</p> <p>② クラウドサービスの開発環境とは、仮想デスクトップという意味ではなく、ご質問にあるとおりクラウドベースで提供されるサービスの使用を想定しています。</p>

		<p>うな、クラウドベースで提供されるサービスを使用する形でも問題ありませんでしょうか？仮想デスクトップを利用するなどという意味でしょうか？</p>	
--	--	--	--